



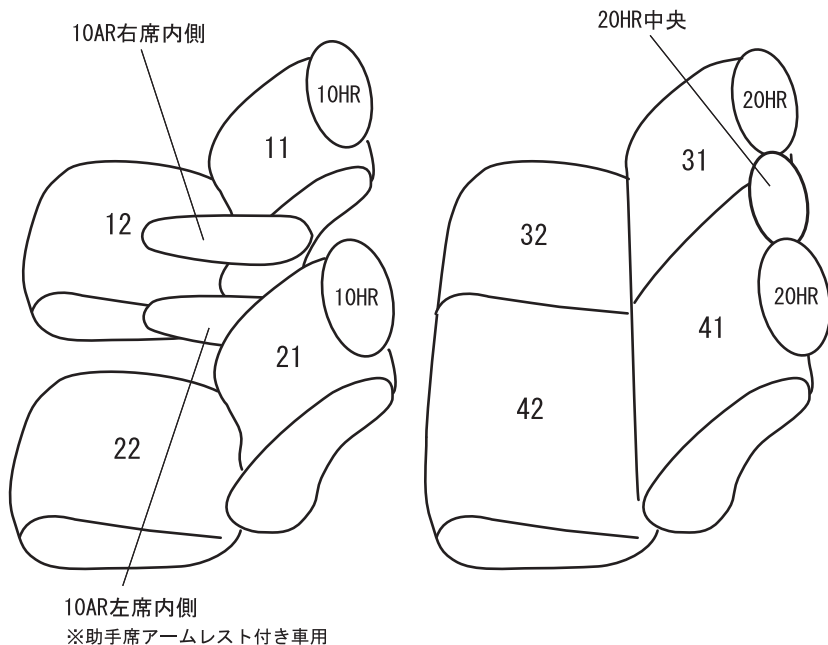
ホンダ フリード スパイク
フリード スパイク ハイブリッド

専用シートカバー取付説明書

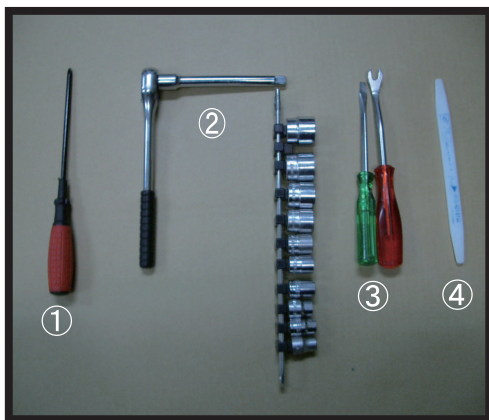
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難う
ございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する
注意事項等が記載されていますので、装着前に必ず
お読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品
とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①＋ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



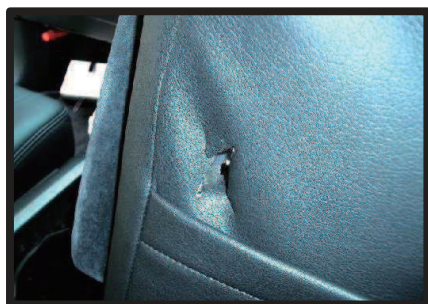
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。

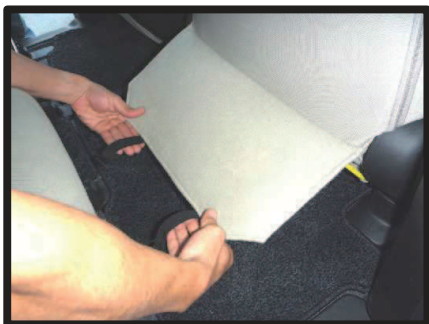


- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。

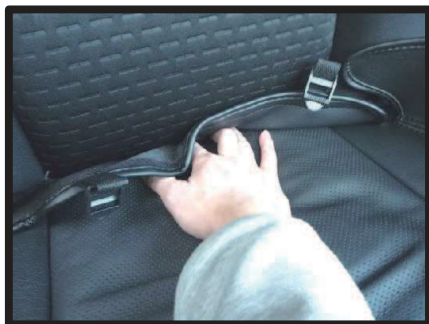


- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

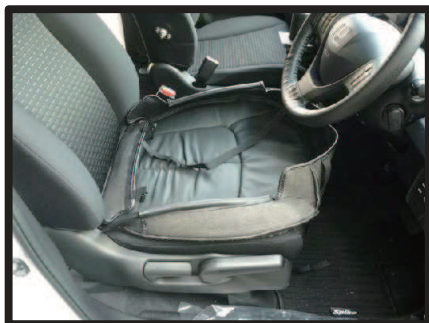
1 列目座面



①サイドエアバッグ装備車は背もたれ下から座面裏に回っている図の部分を外して、カバーの取り付けを行います。図の部分は座面裏にフック2ヶ所で留まっています。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、後ろ側から引き出します。



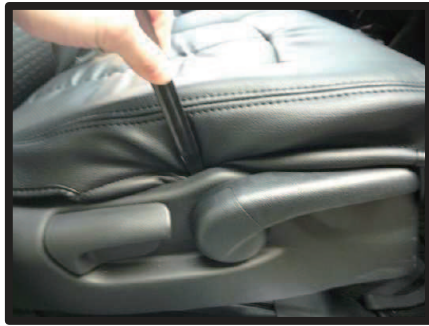
②シートラインに合わせてカバーの位置決めをします。



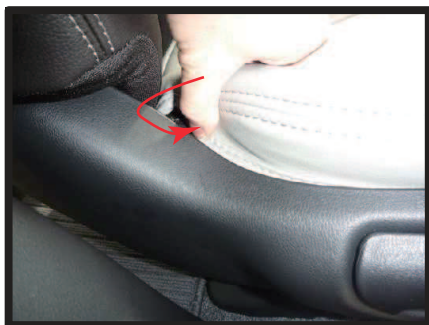
⑤サイドエアバッグ装備車はシートの裏側に配線がありますので、配線をかまし、生地を引き出します。



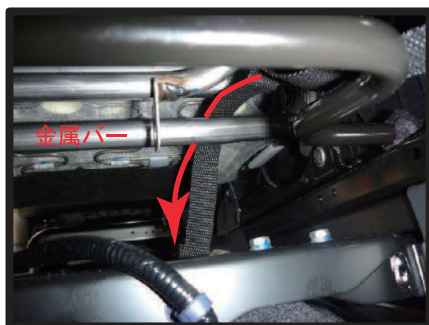
③シート全体にカバーをかぶせます。



⑥カバー側面の生地をシートのプラスチック部に入れ込みます。



⑦外側面の背もたれ付近の生地は、シート裏に巻き込むように入れ込みます。



⑩カバー前側に付いているベルトをシートの裏側を通し、後ろ側から引き出します。この際、運転席側には図のような金属バーがありますので、ベルトは上側を通すようにします。



⑧内側面の背もたれ付近の生地は、重なり合った上側の生地を側面に入れ込み、内側の生地は図のようにシートの内側に入れ込むようにします。



⑪後ろ側から引き出したベルトは、⑨で固定した生地が付いているバックルに通し固定します。
※固定方法は巻末のベルトの通し方を参照して下さい。



⑨1ページ④で引き出した生地は、マジックテープでシートに直接固定します。



⑫カバーのラインを整え、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ

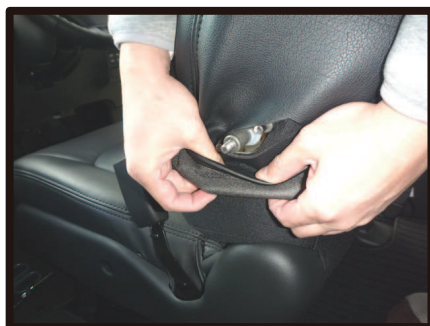


注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- ①背もたれカバーの装着前に、アームレストを取り外します。
ヘラ等を使用し、プラキャップを取り外します。



- ④アームレスト取り付け部は、図のようにカバーの加工穴でかわします。
※助手席側背もたれカバーには加工穴がありませんので、11ページを参照し、穴開け加工をして下さい。



- ②ソケットレンチ等を使用し、アームレストを固定しているナットを外すと、アームレストを取り外せます。



- ⑤サイドエアバッグ装備車は1ページ①で外したカバーをめくり上げ、背もたれカバーの中に入れ込みます。



- ③カバーを半分程裏返した状態で、背もたれのラインに合わせ、かぶせませす。この際、肩口までしっかり入れ込みます。



- ⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦ 入れ込んだ生地を裏側から引き出します。

※サイドエアバッグ装備車はシートの裏側に配線がありますので配線をおろし、生地を引き出して下さい。



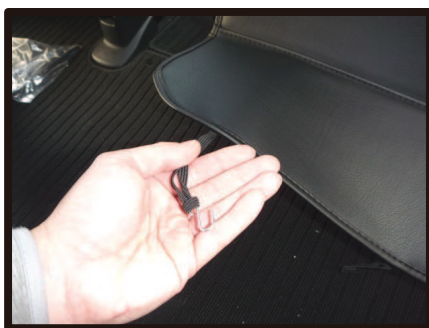
⑧ 図の①～③の順番に生地をなで下ろしてシートに密着させるようにしわを無くしていきます。



⑨ ⑦で引き出した生地と背もたれ背面をマジックテープで固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



⑩ 固定した生地の中には、ゴムが付いているので、付属のS字フックを取り付け、座面裏の金具部分に引っ掛け固定します。



⑪ ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐり込ますように取り出して下さい。無理に入ると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑫ サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。

カバーのラインを整え、1列目運転席側背もたれの完成です。

助手席側も同様に取り付けます。

※助手席側背もたれ背面のコンビフックを使用する場合は、12ページを参照し、穴開け加工をして下さい。

2列目座面

※助手席側で取り付け説明をします。



①○印のポケットに収納されているシートベルトバックルを、ゴムを外しポケットから取り出しておきます。



④シート中央のシートベルトバックルが出てくる隙間に、端にゴムの付いた生地を入れ込みます。



②中央席用のシートベルトバックルをシート本体に付いているゴムから取り出します。



⑤カバーに付いているゴムに、②で取り出したシートベルトバックルを固定します。



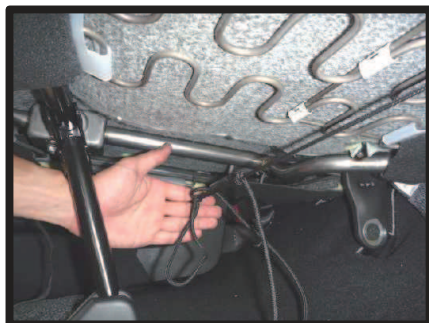
③シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地はシート奥まで入れ込み、シート本体に直接マジックテープで固定します。



⑦5ページ⑥の作業を外側面から見た図です。生地を矢印方向に入れ込みシート本体に直接マジックテープで固定します。



⑩ヒモを座面裏で固定すると、このようになります。



⑧カバーの側面に付いているヒモを取り出します。



⑪5ページ④で入れ込んだ生地に付いているゴムをシート裏から取り出します。S字フックを取り付け、シート裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑨ヒモは座面裏で固定します。
※固定方法は巻末のヒモの結び方を参照して下さい。



⑫カバー前方に2本、内側面に1本あるゴムに付属のS字フックを取り付け、座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。
※運転席側のゴムは前方に1本、内側面に2本です。

2列目背もたれ

※助手席側で取り付け説明をします。



⑬シート付け根部分の生地をプラスチック部の隙間に入れ込みます。



①カバーを半分程裏返した状態で、背もたれにかぶせます。



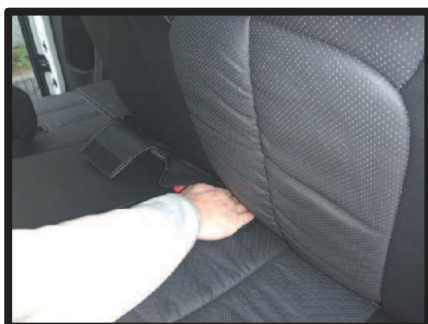
⑭5ページ①で外したシートベルトバックルを、カバーに付いているゴムを通して、図のように収納します。



②シートのラインからずれないようにカバーを背もたれ全体にかぶせます。



⑮カバーのラインを整え、2列目助手席側座面の完成です。運転席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



③背もたれを少し前方にリクライニングさせ、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



④入れ込んだ生地を裏側から引き出します。



⑦リクライニングレバーを起こすと、中にネジが見えますので、+ドライバーを使用し外します。



⑤引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑧ネジを外すと、リクライニングレバーをシートから浮かせることができます。



⑥ヘッドレストの台座を取り出します。



⑨リクライニングレバーを浮かせた状態で、隙間に生地を入れ込みます。入れ込んだ生地を挟み込むように、リクライニングレバーをネジで固定し直します。

2列目背もたれ続き



⑩シート側面のプラスチック部の隙間にヘラ等を使用し、生地を入れ込みます。



⑬シート背面のチャイルドシート固定用フックのプラスチック部の隙間にもヘラ等を使用し、生地を入れ込みます。隙間が狭いので、慎重に作業して下さい。



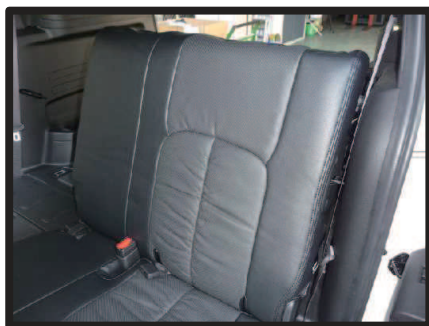
⑪プラスチック部の側面側です。生地に丸く穴開け加工している部分は、プラスチック部を図のようにめくるとクリップの先が見えますので、その先に穴を通して下さい。



⑭正しく生地を入れ込むと、このようになります。



⑫正しく生地を入れ込むと、このようになります。

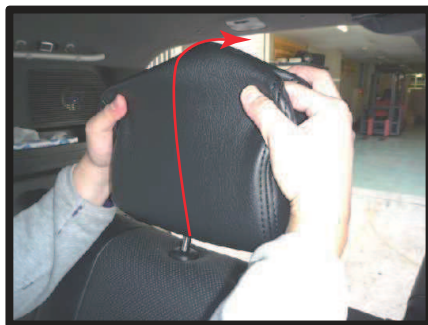


⑮カバーのラインを整え、2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

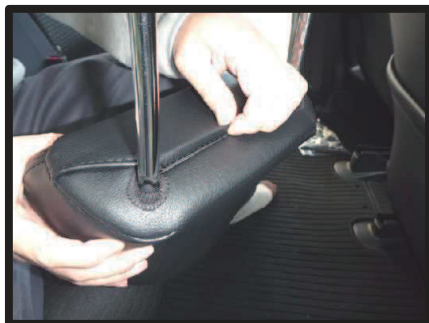
ヘッドレスト



- ①カバーを半分程裏返した状態で、1列目ヘッドレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。

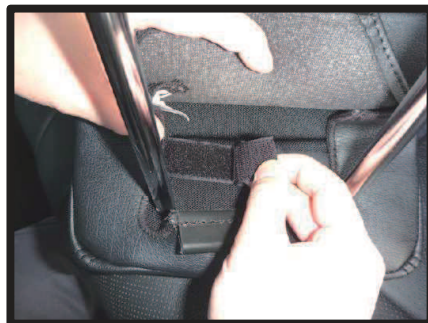


- ④2列目ヘッドレストは、カバーをヘッドレストの下側から後ろ側へかぶせるようにし、1列目と同様にブラックで固定します。

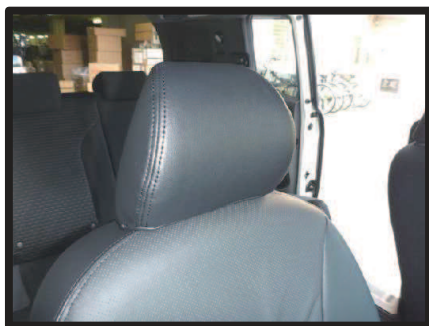


- ②ヘッドレストを台座から取り外し、カバーの底面でブラックを固定します。

※固定方法は巻末のブラックの固定を参照して下さい。



- ⑤2列目中央ヘッドレストは、カバーに付いているマジックテープを固定した後ブラックで固定します。



- ③ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



- ⑥カバーのラインを整え、2列目ヘッドレスト・2列目中央ヘッドレストの完成です。

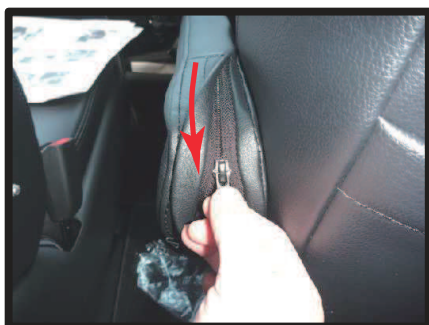
アームレスト



- ①アームレストにカバーを半分程裏返した状態でかぶせます。この際、アームレスト先端までしっかりカバーを入れ込みます。



- ②アームレストを取り外した逆の手順で元に戻します。



- ③カバー後方のファスナーを閉じ、アームレストの完成です。

1列目助手席背もたれ アームレスト穴開け加工



- ①助手席背もたれにカバーをかぶせ、アームレスト位置を確認し、印を付けます。



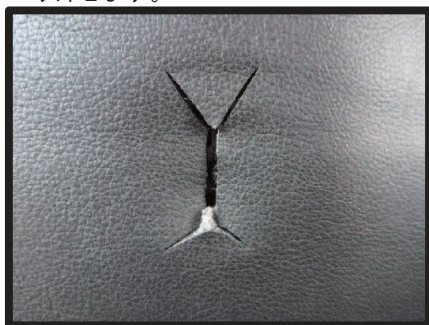
- ②付けた印を中心に少しずつカバーを切り、図のように穴開け加工をします。カバーを切り過ぎるとアームレスト取り付け時に、シートの生地が見えてしまうので、少しずつ切るようにして下さい。

※カバーを切る際に、シートの生地を切らないよう注意して下さい。

1 列目助手席背もたれ コンビニフック穴開け加工



- ①助手席背もたれにカバーをかぶせる前に、背もたれ背面にあるコンビニフックを取り外します。コンビニフックは、図のようにヘラ等を隙間に差し込み、手前に起こすようにすると固定しているクリップが外れ、取り外せます。

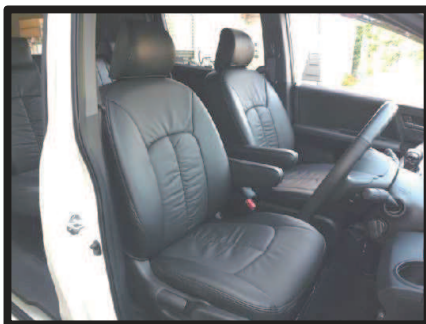


- ②背もたれカバー装着後、背もたれ背面のコンビニフック位置を確かめ、図のような切れ込みを入れます。
※カバーを切る際に、シート生地を切らないよう注意して下さい。



- ③切れ込みの上から押さえ付けるようにコンビニフックを取り付け、完成 — 1 2 — です。

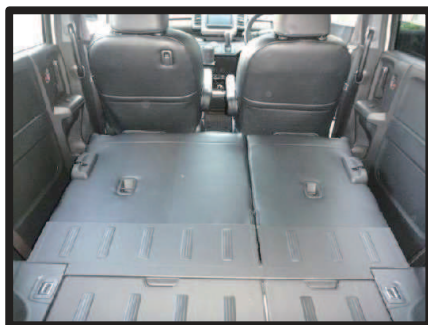
完成図



1 列目

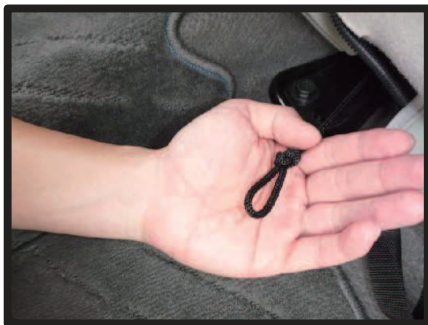


2 列目

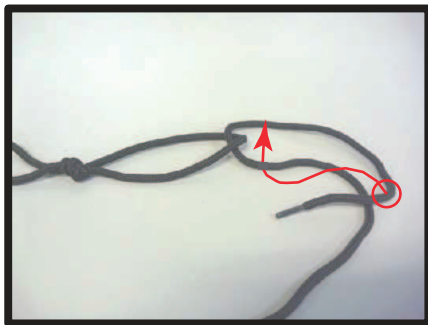


2 列目ダイブダウン

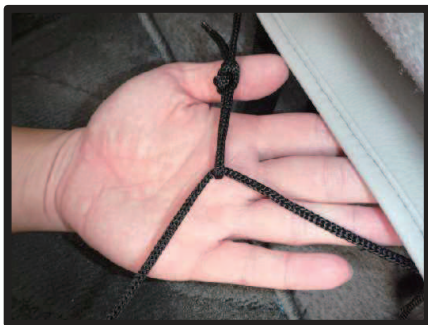
ヒモの結び方



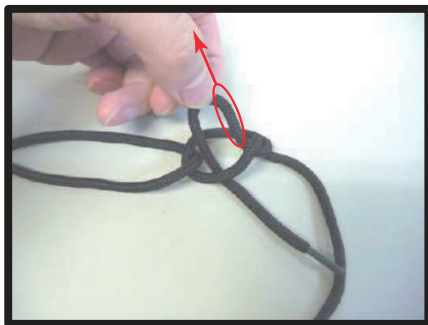
①カバー両側面に付いているヒモの一方
方で、図のような輪を作ります。



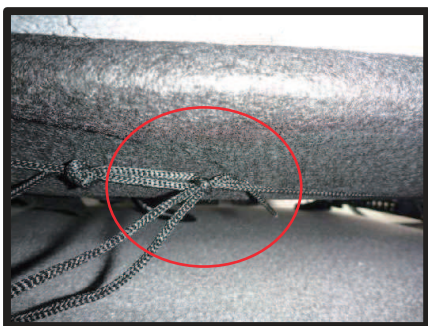
④ヒモの結び方は、引き絞ったヒモを
(図の右側) 輪のようにし、矢印部分
をつまむようにして輪に通します。



③①で作った輪に、もう一方のヒモを
通します。



⑤通したヒモの○側を引っ張ると、ヒ
モが結ばれます。
※ヒモの先端側を引っ張ると、ヒモは
結ばれません。



③通したヒモで、シート下回りを引き
絞りに、結び留めます。

※ヒモを強く引っ張りすぎると切れる
恐れがありますのでご注意ください。



⑥正しくヒモを結び留めると、このよ
うになります。
この状態でヒモの先端側を引っ張ると、ヒモが簡単にほどける結び方
になります。

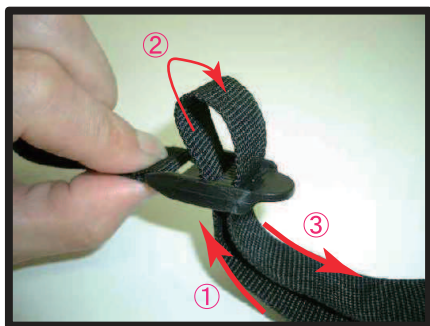
ベルトの通し方



①カバーに付いているベルトを、バックルが付いている生地側に引き出します。

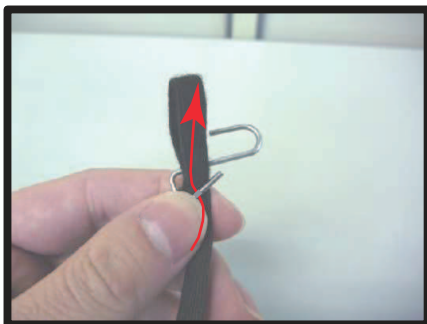


②バックルにベルトを通し、引き絞る事で、カバーが固定されます。

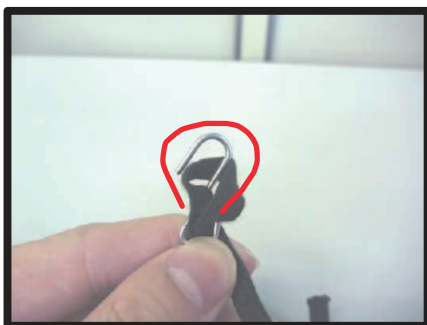


③ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締まり固定されます。
※強く引き過ぎるとベルトが切れる恐れがありますので、ご注意ください。

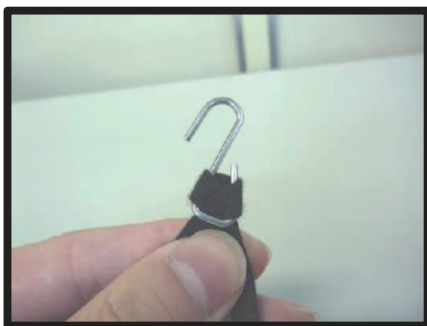
S字フックの取り付け方



①ゴムとS字フックの取り付け方は、始めに図のようにS字フックにゴムを通します。



②通したゴムを、図の赤線のようにしてS字フックにかぶせます。



③かぶせたゴムを引き絞る事で、図のようにS字フックがゴムに固定され、外れにくくなります。

プラフックの固定

※図は、ヘッドレストを例にしています



- ①ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のプラスチックと平らなプラスチックを使用して固定するものがあります。

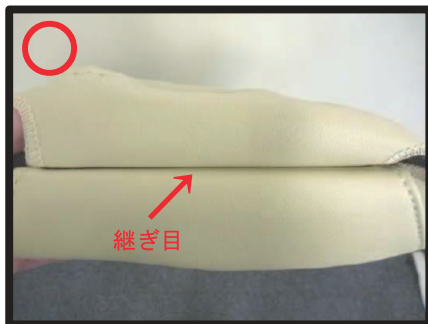
※例：ヘッドレスト



- ②プラフックの固定方法は、カギ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



- ③間違った固定方法です。平らなプラスチックのみをカギ状のプラスチックに引っ掛けるだけではしっかり固定出来ません。



- ④正しくプラフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



- ⑤間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に、図のように平らなプラスチックの縫製糸が見えてしまいます。



- ⑥例で使用したヘッドレストの場合はこのようになります。

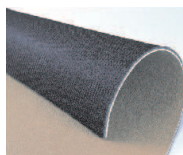


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

